

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 2 年 5 月 20 日現在

機関番号：17102

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2017～2019

課題番号：17K13485

研究課題名(和文) 留学生に対するキャリアサポートと日本語教師の役割

研究課題名(英文) Career Support for Foreign Exchange Students and The Role of Japanese Language Teachers

研究代表者

酒井 彩 (SAKAI, AYA)

九州大学・留学生センター・准教授

研究者番号：60791431

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,800,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、留学生の進路選択場面において、日本語教師がどのような役割を果たしているか明らかにするため、留学生に対するキャリアサポートとそのために必要な資質・能力に関する調査を実施した。その結果、教師歴10年未満の教師が行ったキャリアサポート28件、教師歴10年以上の教師が行ったキャリアサポート52件が抽出された。また、教師歴10年未満の教師が必要だと考える日本語教師の資質・能力33件、教師歴10年以上の教師が必要だと考える日本語教師の資質・能力50件が抽出された。本結果は、今後の日本語教師養成・研修においてコミュニケーション力や社会人としての知識も育成していく必要性を示唆した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

留学生に対するキャリアサポートの検討段階にある現状において、これまで明らかにされてこなかったキャリアサポートの送り手である日本語教師側の視点から行っているキャリアサポート及びそのために必要な資質・能力について明らかにした点に意義がある。留学生の進路選択場面における日本語教師の役割は、本研究結果が示す通り、多岐にわたり、諸機関と協働し、留学生のキャリア形成の一翼も担うことが求められている。特に教歴に関係なく、コミュニケーション力や社会人としての知識の育成、新人教師へのベテランの教師の暗黙知となっている経験の共有の必要性が示唆されたことは、今後の日本語教師養成、研修の一考に寄与する。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this preliminary study was to explore the type of career support Japanese language teachers performed for foreign exchange students, as well as necessary qualifications/skills for Japanese language teachers. Semi-structured interviews were conducted and analyzed via the KJ Method. 28 instances of career support by teachers with less than 10 years of teaching experience and 52 instances of career support by teachers with more than 10 years of teaching experiences were identified. In addition, 33 instances of credentials/skills perceived to be necessary for providing career support were identified in teachers who had less than 10 years of teaching experience. 50 instances were identified in those who had more than 10 years. The results suggest that it is essential to foster the development of communicative competence and knowledge necessary for working adults in Japanese language teacher training workshops.

研究分野：日本語教育，異文化間教育

キーワード：日本語教師 留学生 資質・能力 役割 キャリアサポート 就職支援 就職相談 就職活動

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

#### 1. 研究開始当初の背景

2020年を目前に「留学生30万人計画」が提唱された。グローバル戦略を展開する一環として、「入り口」である入学から「出口」である卒業後の就職に至るまで幅広い施策を打ち出された。

このような状況を踏まえ、増加している留学生が日本で卒業後の進路を選択する場合、母国とは異なる制度面、心理面の困難に直面する。それを克服するには自助努力に加え、周囲からのサポートが不可欠である。

これまでの研究や事例報告から、日本語教師が授業内外で留学生のキャリアサポートを行っていることが示されたが、いずれもサポートの受け手である留学生が調査対象であり、送り手である日本語教師がどのようなサポートを行ったと認識しているか、サポートを行うために日本語教師にどのような資質・能力が必要かについては明らかではない。

日本語教師養成、研修に関する文化庁の報告書からわかることは、日本語教師には、日本語のプロフェッショナルとして、言語教育を担う能力と同時に、留学生の心理的側面や文化的側面に配慮できるような資質が求められているということである。しかしながら、ここで日本語教師に求めるものとして示されているのは、留学生の進路選択場面に特化したものではない。出入国管理及び難民認定法改正によって外国人労働者の増加も見込まれ、多文化化が進む日本社会で、留学生の進路選択場面において、どのような日本語教師が必要か検討する時期に差し掛かっている。

#### 2. 研究の目的

本知見を質問紙調査に繋げ、その結果を留学生のキャリアサポートに対応する日本語教師を養成・研修する方法について検討する足掛かりとするため、日本語教師を対象に、留学生に対するキャリアサポートと日本語教師に必要な資質・能力について明らかにすることを目的とした。

#### 3. 研究の方法

対象者は、日本国内の日本語教育機関に勤務する日本語教師20名である。教師歴は、18か月～243か月(平均:123.5か月)である。性別は、男性5名、女性15名で、年代は、20代前半～60代前半である。

上記の対象者に対し、キャリアサポートと必要な資質・能力の実態を明らかにするための半構造化インタビューを行った。インタビューは、一人当たり1時間から1時間半で、対象者の同意を得た上で、ICレコーダーに録音し、文字化した。

インタビューデータは、教歴で2群(10年未満、10年以上)に分け、KJ法(川喜田, 1967)におけるグループ分けの手法を用いて分析した。

#### 4. 研究成果

キャリアサポートは、日本語教師歴10年未満の教師が28件、日本語教師歴10年以上の教師が52件抽出された。共通して、大カテゴリーとして、【進路選択行動の促進】【日本語の支援】【情報提供】【専門家へのリファー】の4種類が抽出された。

両者は、ほぼ同内容のキャリアサポートを行っているものの、日本語教師歴10年以上の教師の方が質(種類)、量(件数)の両面において多様であった。また、一部キャリアサポートは、経験の違いから、日本語教師歴10年未満の教師は、学生と一緒に進む傾向が見られ、日本語教師歴10年以上の教師は、先を見越して指導や助言を行う傾向が見られた。

また、必要だと考える資質・能力は、日本語教師歴10年未満の教師が33件、日本語教師歴10

年以上の教師が 50 件抽出された。共通して、大カテゴリーとして、【コミュニケーション力】【社会人基礎力】【学びの活用】【キャリアサポートに必要な知識】の 4 種類が抽出され、日本語教師歴 10 年未満の教師のみ、【アカデミックスキル】も抽出された。

共通点として、両者に社会の中に組み込まれた日本語教育という考えがあり、そこからいわゆる「社会人」に必要とされる【社会人基礎力】、社会における【学びの活用】【キャリアサポートに必要な知識】を挙げた可能性が示された。異なる点として、日本語教師歴 10 年未満の教師が研究に関わる能力、日本語教師歴 10 年以上の教師が個別対応力が必要であると考えていることが示された。

本研究結果が示すように、日本語教師が多様なキャリア支援の一翼を担うには、コミュニケーション力や社会人としての知識も育成していく必要がある。また、日本語教師養成段階では、中堅やベテランの教師の暗黙知となっているキャリアサポートの経験の共有も必要である。今後は、日本語教師養成・研修方法に関して研究を重ね、さらに検討していきたい。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計1件（うち査読付論文 1件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 酒井彩	4. 巻 6
2. 論文標題 留学生に対するキャリアサポートと日本語教師に必要な資質・能力	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 基幹教育紀要	6. 最初と最後の頁 17-31
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 酒井彩
2. 発表標題 留学生に対するキャリアサポートと日本語教師に必要な能力
3. 学会等名 異文化間教育学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 酒井彩
2. 発表標題 留学生に対するキャリアサポートと日本語教師の役割
3. 学会等名 多文化間心理教育学研究会
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考
---------------------------	-----------------------	----